



<p>・本工事では低入札者に対し施工体制確認のためのヒアリングを行っているがヒアリングまで進むことは多いのか。</p> <p>・施工体制確認対象者がヒアリングを受けずに入札を辞退し、応札者が1社になった場合でも入札は有効か。</p> <p>③苦小牧港西港区航路護岸工事 テーマ「海上作業で杭頭部が水中部に没する鋼管矢板打設時の課題とその対策について（打設方法に係る提案を除く）」</p> <p>・提案に対し、個々の技術の有効性を判断するところまではいいが優良の判定が難しい。 また、今回自由に提案を5つ出すことにしたことにより各社から様々な提案がなされ、尺度を設けることが出来ない由に評価を難しくしているかに見える。発注者であらかじめテーマを5つ決めて提案してもらうことにすれば、尺度をもって評価出来たのではないか。</p> <p>&lt;業務事後審査&gt;</p> <p>④鶴川沙流川河川空間利活用検討外業務 テーマ「二風谷地区における地域文化・歴史を考慮した水辺整備の留意点」</p> <p>・提案書が詰め込み過ぎで見づらいものさえある。記載要領の改善が必要では。</p> <p>⑤日高自動車道新ひだか町外静内地質解析検討業務 テーマ「周辺環境を踏まえたトンネル区間における地質調査および解析を行う上での留意点について」</p> <p>・本業務では（着目点、問題点、解決方法）、（業務内容の説得力）の評価が決めてになるかと思われる。この様な場合には当該配点のウエイトをもっと大きくすべきではないか。</p> <p>・地質調査である本業務をプロポーザル方式にした理由は。</p>	<p>・追加資料の提出を求めて施工体制確認ヒアリングを行った事案が今年はまだ数件あったが、通常は施工体制確認対象者に追加資料提出を求めた時点で辞退となることがほとんどである。</p> <p>・有効である。</p> <p>・本航路護岸は、鋼管矢板の杭頭部が水中部に没する極めて稀な構造形式の施設であるため、効果的な施工方法、技術的な工夫をより幅広く求めるために自由提案とした。 評価基準について、発注者がどのような提案を求めているのか入札参加者が的確に汲み取れる様明示の仕方を工夫したい。</p> <p>・見づらいのみならず記載量に差がつくことで公平さを欠くことにもなる。自由度との兼ね合いに配慮しつつ、余白、文字間、行間等、条件について検討したい。</p> <p>・差がつきそうにない項目からウエイトを移し、メリハリのある評価にすることも検討したい。</p> <p>・本省ガイドラインに（プロポーザル、総合評価、価格競争）の標準的な使い分けが示されており、これにより決めた。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	
<p>なし</p>	

※入札参加者の提案又はその評価に係わる内容については、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。